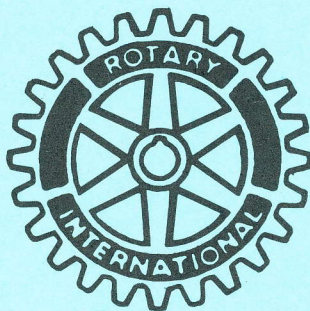


1983 ~ 1984年度

クラブ活動計画書

昭和58年7月



R. I. 第259区

大和中ロータリークラブ

会長 長谷川 清 一 幹事 古 木 勝 治

1983 ～ 1984年度

クラブ活動計画書

昭和58年7月

1983 ～ 84年度

ウィリアム・E・スケルトン

R. I. 会長テーマ

Share Rotary-

みんなにロータリーを-

Serve People

みんなに奉仕を

大和中ロータリークラブ長谷川清一会長テーマ

青少年の心に

ロータリーのほほえみを

大和中ロータリークラブ

会 長 長谷川 清 一
事務所 大和市商工会館内
電 話 (63) 7926

幹 事 古 木 勝 治
例会場 八千代信用金庫大和支店
電 話 (64) 3654

クラブ活動計画書

目 次

本年度の経営方針	3
会 務 報 告	5
大 和 市 略 図	8
会 計	9
委 員 会 計 画	
ク ラ ブ 奉 仕	1 2
出 席 委 員 会	1 3
職 業 分 類 委 員 会	1 4
職 業 分 類 一 覧 表	1 5
ク ラ ブ 会 報 委 員 会	1 9
親 睦 活 動 委 員 会	2 0
雑 誌 委 員 会	2 1
会 委 選 考 委 員 会	2 2
会 員 増 強 委 員 会	2 3
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	2 4
年 間 プ ロ グ ラ ム 予 定 表	2 5
広 報 委 員 会	3 0
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	3 1
ス マ イ ル ボ ッ ク ス 委 員 会	3 2
S . A . A	3 3
国 際 奉 仕 委 員 会	3 4
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	3 5
米 山 奨 学 記 念 委 員 会	3 6
職 業 奉 仕 委 員 会	3 7
社 会 奉 仕 委 員 会	3 8
青 少 年 奉 仕 委 員 会	3 9
(別 表) (1) 大 和 中 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 員 名 簿	4 0
(2) 理 事 ・ 役 員 ・ 委 員 会 一 覧 表	4 4
(3) 歴 年 会 務 分 担 表	4 5
(4) 大 和 中 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 慶 弔 規 定	5 1
(5) 大 和 中 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 電 話 連 絡 網	5 2

本年度の運営方針

会長 長谷川 清 一

“ 青少年の心に

ロータリーのはほえみを ”

クラブ創立5周年という創始期の完結と併せて、東慶州ロータリークラブとの姉妹クラブ締結によって新らしい歩が始まる年度に、より一層会員相互の親睦と研讃をはかりながら、クラブの拡充に努めることを所期の目的としたい。

特に、次代を担う青少年の心に、ロータリーのはほえみをおくる年度としたい。

運営方針の重点

1. 大和市の「明るくたくましい青少年が育つ都市」宣言を契機に、親の立場から青少年問題の研究や青少年団体の活動に力をかしたい。
2. 例会と各委員会の活動を通じ、会員相互の情報交換を密にして親睦の和を広げるとともに、クラブの拡充に努め、奉仕の実をあげたい。
3. 東慶州ロータリークラブとの交流には、物の国際化から心の国際化へと転換を図りつゝ会員一人ひとりが個人の立場で携わってゆく、民際外交を推進したい。

幹事 古 木 勝 治

クラブ内外の諸記録、通知、報告、資料等の整理保存、及び財産の管理運営については、従来のすばらしい実績を踏襲しなおかつ時代に即した要請に応えるべき事柄については、R I の基本原理の範囲内で皆様方のご協力を得て推進して行きたい。

昨年度は5周年記念事業を成功裡に修了した訳ですが、本年度は、10周年に向ってのスタートの年であり、創立時の初心にかえり、各々が会長の意を体して着実に業績を伸すべき我がクラブの未曾有の力を発揮できるよう幹事としての任務を遂行したいと思っておりますので会員各位のご協力を贈りたくよろしくお願い致します。

会 務 報 告

幹 事 古 木 勝 治
副幹事 伊 藤 英 夫

1. クラブの沿革

創 立 総 会 昭和 5 3 年 5 月 9 日 於大和市商工会館三階
R. I. 承 認 昭和 5 3 年 6 月 2 3 日
チャーターナイト
(認証状伝達式) 昭和 5 4 年 4 月 2 2 日 於厚木基地
スポンサークラブ 大和ロータリークラブ
特 別 代 表 星 幸 男 氏
ガ パ ナ ー 細 谷 実 氏
チャーターメンバー
(創 立 会 員) 2 3 名
区 域 限 界 大和市全域 (別紙)
事 務 所 大和市商工会館 2 階
電話 (6 3) 7 9 2 6

例 会 場 ○ 昭和 5 3 年 5 月 9 日～昭和 5 6 年 6 月 3 0 日
大和市商工会館 3 階会議室
○ 昭和 5 6 年 7 月 1 日～
八千代信用金庫大和支店 4 階会議室
電話 (6 4) 3 6 5 4

2. 会員の種類

正 会 員 4 9 名
アディショナル正会員 0 名
シニアアクティブ会員 0 名
名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジスター及びゲスト数、会費、入会金一覧表

年 度	人 口	会 員 数 (年度初め)	平均出席率	ビジスター及 びゲスト数	入 会 金	会 費
昭和 5 3 年	159,718	2 3 名	100%	(含・仮クラブ) 8 0 名	100,000円	168,000円
5 3 年～5 4 年	159,963	2 2 名	99.76%	4 8 4 名	100,000円	168,000円
5 4 年～5 5 年	164,748	2 8 名	98.12%	4 9 6 名	100,000円	168,000円
5 5 年～5 6 年	167,318	3 0 名	98.59%	5 3 2 名	100,000円	168,000円
5 6 年～5 7 年	169,530	4 0 名	99.96%	5 1 9 名	100,000円	168,000円
5 7 年～5 8 年	171,440	4 2 名	99.1 %	5 1 9 名	100,000円	168,000円
5 8 年～5 9 年	173,338	4 9 名			100,000円	168,000円

4. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 別表(1)

b) 会員年令構成 (58年7月16日現在)

30才台 6名

40才台 21名 最高 67才

50才台 16名 最少 33才

60才台 6名 平均 48.9才

計 49名

c) クラブ在席年数(58年7月1日現在)

1年未満 11名

1年以上 5名

2年以上 10名

3年以上 1名

4年以上 8名

5年以上 14名 計 49名

d) 100%出席会員数(58年7月1日現在)

5年間 12名(芦田、藤田、長谷川、猪熊、伊藤(英)、亀谷、北砂、
松本(忠)、大高、寺田、土屋、上田(利))

4年間 7名(辻、近藤、石渡、有沢、竹之内、蜂屋、布施)

5. 理事、役員、委員会構成メンバー (別表(2))

6. 理事会、例会及び委員会

毎月第2例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ケ日は休会とする。

各委員会は、活動打合せのため適時委員会を開催する。

7. クラブアッセンブリー

新年度 1月中

地区大会後 I.G.F. 後

カバナー公式訪問2週間前 年度末

カバナー公式訪問時

8. ロータリー財団

○当クラブのポールハリス・フェローは

1. 亀谷 志郎 君 6. 伊藤 正男 君 11. 保田 達 君
2. 寺田 伍六 君 7. 富沢 重徳 君 12. 鈴木 久次郎 君
3. (故)矢野 久元 君 8. 布施 光雄 君 13. 松本 三郎 君
4. 長谷川 清一 君 9. 細野 順造 君 14. 松本 忠明 君
5. 芦田 敬治 君 10. 竹之内 弘美 君

○準フェローは

1. 藤田 重成 君 4. 有沢 昭二 君 7. 古木 勝治 君
2. 辻 国明 君 5. 伊藤 英夫 君 8. 池田 武和 君
3. 北砂 富三 君 6. 三浦 泰之 君 9. 小島 健一 君

○新入会時13ドル、会員1人当り3ドルの追加寄付をする。

9. 米山記念奨学会

当クラブの米山功労者

1. 有沢 昭二 君 3. 寺田 伍六 君 5. 橋本 健彦 君
2. 郡司 守 君 4. 布施 光雄 君

10. 歴年会務分担表 (別表(3))

11. 大和中ロータリークラブ慶弔規表 (別表(4))

12. 大和中ロータリークラブ電話連絡網 (別表(5))

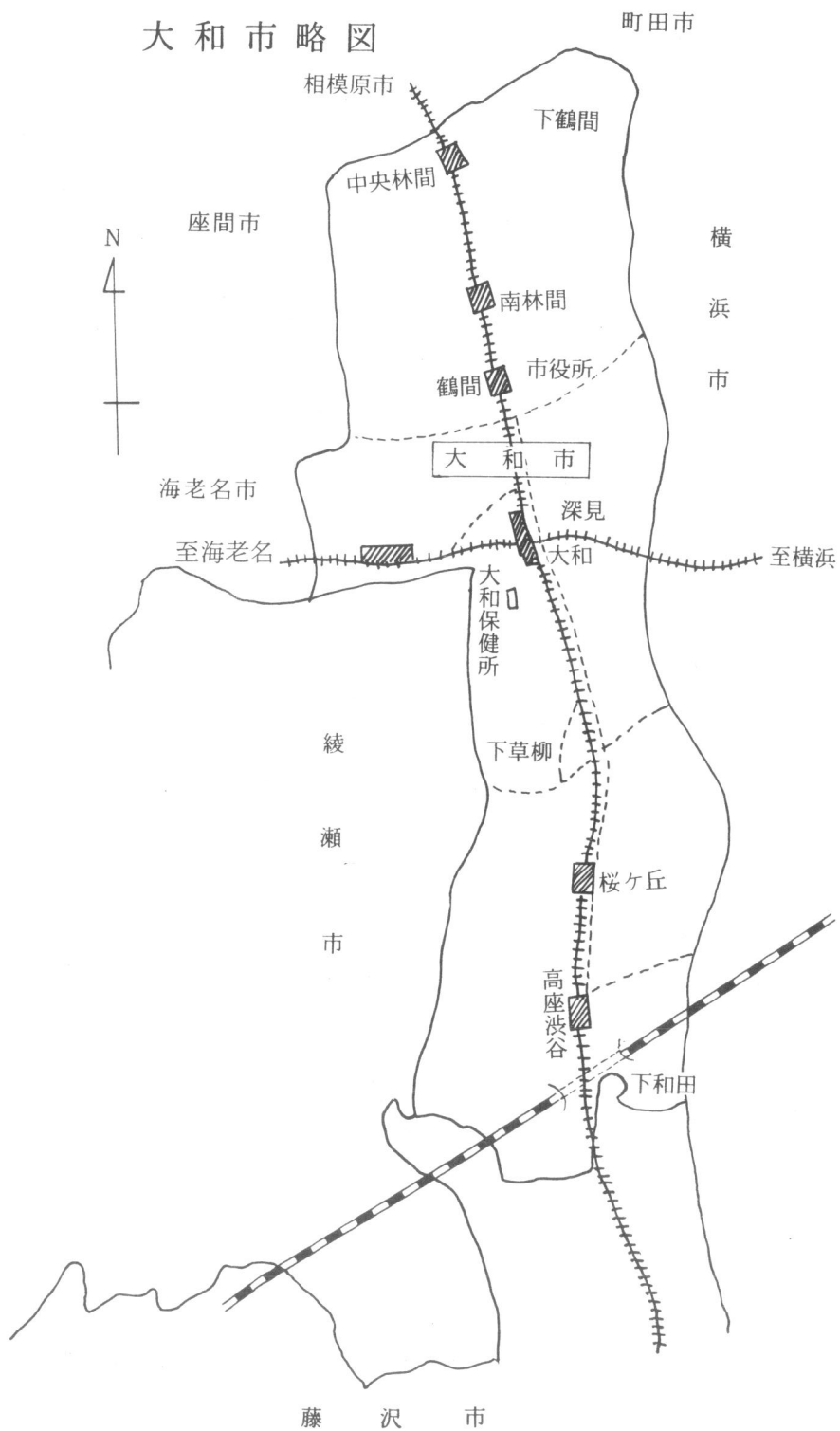
13. 歴代会長・幹事名

年 度	ガバナー	会 長 名	幹 事 名
昭和53年 (1978)	細谷 実 (藤沢北)	(故) 矢野 久元	長谷川 清一
53年～54年 (1979～1979)	蔵 並 定男 (鎌倉)	(故) 矢野 久元 { 蜂屋 良平 }	長谷川 清一
54年～55年 (1979～1980)	伊藤 茂 (相模原中)	芦田 敬治	北砂 富三
55年～56年 (1980～1981)	加藤 進治 (横浜)	亀谷 志郎	富沢 重徳
56年～57年 (1981～1982)	渡辺 嘉造伊 (川崎南)	伊藤 正男	辻 国明
57年～58年 (1982～1983)	加藤 宗兵衛 (伊勢原)	寺田 伍六	(郡司 守明)
58年～59年 (1983～1984)	加島 淳 (横浜磯子)	長谷川 清一	古木 勝治

14. 姉妹クラブ

大韓民国東慶州 R. C. 昭和58年5月15日締結

大和市略図



会

計

後 藤 定 毅

1. 当クラブの入会金は100,000円とし、入会承認と同時に納入しなければならない。
2. 当クラブの会費は年額168,000円とし、年2回（7月1日、1月1日）に分け、84,000円あて納入しなければならない。
但し、例会の食事代はこの中に含まれる。
3. 当クラブの1983～1984年度会計予算は、別表の通り編成する。

1983～1984年度一般会計予算表

(昭和58年7月1日～昭和59年6月30日)

(単位円)

科 目					本 年 度 予 算												
収入の部	年入ビ雑前	ジ	タ	会 会 一 会 収 繰 越	費金費入金	8,652,000 500,000 387,000 30,000 1,610,344											
					収入の部合計	11,179,344											
支出の部	クラブ運営費	例 事 交 贈 通 函 印 文 備 会 ク 慶 賃 雑	務 局 際 答 信 書 刷 具 品 長 ラ ブ 幹 事 協 議 借	費 与 費 費 費 費 費 費 費 費 費 料 費	2,950,000 960,000 170,000 75,000 80,000 200,000 320,000 50,000 50,000 180,000 150,000 100,000 246,000 80,000												
					クラブ運営費合計	5,611,000											
					クラブ奉仕	親 出 雑 会 会 広 プ ロ ク ラ ブ	睦 活 員 拡 グ ラ ム 情 報	動 席 誌 報 大 報 ム 情 報	240,000 220,000 140,000 950,000 10,000 30,000 150,000 80,000								
									クラブ奉仕合計	1,820,000							
									地区費	地 地 地 I. 地 区 区 区 G. 区 費	資 大 協 F. 費 金 分 会 議 負 担 合 計	金 金 費 金 金 分 会 費 担 合 計	619,500 295,000 112,000 295,000 1,321,500				
													R.I.負担金	人 奨 ロ 入 頭 学 ー 会 分 資 タ 時 1 3 ドル	金 金 附 附 分 担 財 団 寄 附	214,200 105,000 36,000 15,600	
																R.I.負担金合計	370,800
																予備費	2,056,044
																支出の部合計	11,179,344

1983～1984年度奉仕会計予算表

(昭和58年7月1日～昭和59年6月30日)

(単位円)

科 目		本 年 度 予 際
収入の部	スマイル	1,300,000
	バザー	
	チャリティ	
	前年度繰越金	474,119
収入の部合計		1,774,119
支出の部	社会奉仕	450,000
	青少年奉仕	200,000
	社会奉仕合計	650,000
	職業奉仕	50,000
	国際奉仕	350,000
	スマイル記念品代	275,000
	予備費	449,119
支出の部合計		1,774,119

ク ラ ブ 奉 仕

担当理事 上 田 利 久

ロータリーにおける奉仕活動の実践に当たり、行き成り、その奉仕のギアを廻してはいけない。先ず親睦のギアを廻して、その動力を奉仕のギアに伝えることが望ましいとされている。

「青少年の心にロータリーのはほえみを」という本年度のクラブ運営方針に沿って、出来るだけ自由な発想が展開されることを期待しながら、全体的なバランスを求めていきたい。

- ① 各委員会はその守備範囲を守りながら、のびのびと行動してみよう！
- ② 静止しては、何もわからない。活動している自分のシルエットを描いてみよう！
- ③ お互の理解を深めるためにも、それぞれに反応してみよう！

そして、これ等の対応の具体的な手引きとしてクラブ奉仕活動がある。

さあ、皆で参加しよう。

出席委員会

委員長 中西 功

副委員長 菊地 康 公

委員 古川 巖

大和中クラブ創立以来の伝統化しつつある高出席率を維持すべく努力したい
と思います。具体的な方法といたしましては、従来のやり方を踏襲したいと思
います。

1. 欠席会員に対し電話等によるマークアップ依頼。
2. 皆出席会員のクラブ表彰規定による表彰。
3. 会報に協力を抑ぎ定期的な個人出席率の掲載。
4. 地区協議会等の参加奨励のために、出席義務者の例会場内掲示及会報掲載。

職 業 分 類 委 員 会

委 員 長 ① 山 中 忠 誠

副委員長 ② 有 沢 昭 二

委 長 ③ 南 川 忠 常

当地域内でも、職業は多種多用に分類出来る事と思われます。又、新職業も再検討し、片寄らず幅広く、又一業種一名の原則を守り乍ら、逐次、充填、未充填を選び、社会の貢献度に値する多くの職業の充填を行っていきます。

現在の職業分類数は次の通りである。

職業分類一覽表

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
医 薬 品 販 売		
ベ ッ ト 販 売		
衣 料 品 販 売		
呉 服 販 売		
男 子 服 製 造	前 原 一 男	(有) ア ロ ー テ ラ ー
乳 製 品 販 売		
家 具 販 売		
百 貨 店	伊 藤 宣 男	(株) 浜 屋 百 貨 店
寝 具 販 売	猪 熊 唯 夫	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店
貴 金 属 時 計 販 売		
事 務 用 品 販 売		
商 業 銀 行		
信 用 金 庫	南 川 忠 常	八 千 代 信 用 金 庫 大 和 支 店
損 害 保 険	北 砂 富 三	ローリンス・ヒースジャパン(株)
外 科 医	芦 田 敬 治	芦 田 医 院
内 科 医	有 沢 昭 二	大 和 診 療 所
小 児 科 医	上 田 利 久	ウ エ ダ 小 児 科
産 婦 人 科 医		
耳 鼻 科 医		
眼 科 医		
歯 科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つ き み 野 松 崎 動 物 病 院
内 科 病 院	亀 谷 志 郎	亀 谷 内 科 病 院
医 薬 品 製 造	土 屋 翁 三	サ ン 薬 品 工 業 (株)
超 硬 金 型 製 造		
印 刷 機 械 組 立	後 藤 定 毅	(有) 藤 工 業 所

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
印 刷 業		
建 築 設 計	金 井 大 輔	(有)カナイ興業一級建築士事務所
鉄 骨 建 築	藤 田 茂 成	(有) 藤 田 工 務 店
木 造 建 築	大 高 安 男	(有) 進 栄 建 設
土 木 業	寺 田 伍 六	(株) 寺 田 土 木
舗 装 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有) 中 西 商 店
建 築 材 料 輸 入	布 施 光 雄	西 友 商 事 (株)
ガラスサッシュ販売		
生コンクリート製造	細 野 順 造	(有) 細 野 コ ン ク リ ー ト
コンクリート製品製造	上 田 勝	上 田 コ ン ク リ ー ト 工 業 (株)
水 道 工 事		
環 境 設 備 工 事	三 浦 泰 之	東 京 土 木 工 業 (株)
生 命 保 険	合 田 良 徳	明 治 生 明 保 険 相 互 会 社
陸 上 輸 送 業		大 和 北 営 業 所
貨物自動車運転台製造	杉 山 元次郎	車 体 工 業 (株)
自 動 車 販 売	原 田 穆	い 浜 い す ゞ モ ー タ ー (株)
自 動 車 修 理		
内 燃 機 関 製 造		
貸 渡 自 動 車 業		
コンピューターシステム	辻 国 明	(株)日本コンピューターユーセイジ
プ ラ ス チ ッ ク 工 業	橋 本 健 彦	東 京 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
厚 鋼 板 加 工		
板 金 打 貫 加 工	郡 司 守	成 興 工 業 (株)
建 築 物 塗 装 業	上 村 幹 雄	サ イ ク ル セ ン タ ー ナ ガ ノ
自 転 車 販 売 業	長 野 俊 八	セ ブ ン イ レ ブ ン 鶴 間 店
食 料 品 販 売	古 川 巖	二 見 園
果 樹 培	二 見 長 幸	聖 徳 電 気 工 業 (株) 大 和 営 業 所
電 気 工 事	古 田 士 勝 美	
電 気 器 具 販 売		

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
音 響 製 品 組 立	小 島 健 一	小 島 産 業 (株)
プ ロ パ ン ガ ス 販 売	松 本 三 郎	(有) 松 本 プ ロ パ ン
石 油 卸 業	神 作 彰	石 井 石 油 (株)
電 器 部 品 製 造		
電 子 機 器 部 品 加 工	竹之内 弘 美	(有) 吹 上 製 作 所
家 庭 金 物 販 売		
郵 便 事 業	古 木 勝 治	中 央 林 間 駅 前 郵 便 局
為 替 事 業	高 橋 政 勝	大 和 上 草 柳 郵 便 局
洋 菓 子 製 造	松 本 忠 明	(有) チ ロ ル
和 菓 子 製 造		
清 酒 販 売	伊 藤 英 夫	カ ギ サ ン 酒 店
清 涼 飲 料 販 売	鈴 木 久 次 郎	(有) 鈴 久 酒 店
和 風 レ ス ト ラ ン	石 渡 英 二 郎	鮎 忠 大 和 店
洋 風 レ ス ト ラ ン		
給 食	福 田 国 雄	(株) 安 田 物 産
特 殊 技 能 学 校		
仏 教		
経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長 谷 川 清 一	長 谷 川 経 営 コ ン サ ル タ ン ト
税 務 代 理	菊 地 康 公	事 務 所
司 法 書 士		菊 地 康 公 事 務 所
不 動 産 賃 貸	富 沢 重 徳	と み ざ わ ビ ル (株)
不 動 産 管 理	近 藤 富 士 男	(株) 近 藤 商 事
不 動 産 鑑 定 士	種ヶ島 実	種ヶ島 不 動 産 鑑 定 事 務 所
貸 倉 庫		
農 業		
園 芸		
冷 暖 房 空 調 設 備		
幼 稚 園		

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
学 習 塾 経 営 旅 行 幹 旋	山 中 忠 誠	(有) 大 和 旅 行 セ ン タ ー

充 填 職 業 4 8

未 充 填 職 業 3 8

シニア・アクチブ会員 蜂 屋 良 平 (陸 上 輸 送 業)

ク ラ ブ 会 報 委 員 会

委 員 長 杉 山 元次郎

副委員長 福 本 国 雄

委 員 菊 池 康 之

” 三 浦 泰 之

（クラブ会報委員会の任務）

興味をひきおこして出席の改善をはかり、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を説明し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、そしてクラブやその会員の—そして世界ロータリー計画に関するニュースを報道すること。

（編集の方針）

1. 興味ある記事にするため、正確性、適時性、必要性を尊重した編集を行う。
2. 本年度の会長方針である「青少年の心の育成とクラブ内部の充実」のための情報を積極的に掲載する。
3. 編集の負担を軽減し、会員に魅力ある委員会となるために次の事項を実施したい。
 - ① 発言者の発言内容の抄録、又は原稿を必ず提出していただく。
 - ② 編集は各委員が3ヶ月毎に編集責任者となって担当する。
 - ③ 会員には年1回以上書面による情報の自主的な提出をお願いする。

親 睦 活 動 委 員 会

委 員 長 橋 本 健 彦

副委員長 松 崎 正 実

委 員 神 作 彰

金 井 大 輔

種ヶ島 実

前 原 一 男

親睦活動はロータリーの原動力であり、全会員、会員御夫人の協力で親睦の輪を広げ奉仕と友情を深められる活動を行なっております。

1. 全家族が積極的に参加出来るユニークで楽しい親睦家族会を年3回以上実施する。
2. ビジターを心から歓迎し、当クラブに対する理解と友情を深めてもらい、又いつでもおいでいただける様に配慮する。
3. 新会員がクラブにとけこめる様に気をくばり、友情と奉仕を理解させる様に配慮する。
4. 各記念日に全会員で祝い、記念日の持つ重要性を再認識出来る様に配慮する。

雑 誌 委 員 会

委 員 長 上 田 勝

副委員長 竹之内 弘 美

委 員 古田土 勝 美

当委員会はクラブ会員及びそれ以外の人達に雑誌を広く利用し、又雑誌に対する読者の興味を喚起するよう次の企画を推進する。

1. 委員会のメンバーが「ロータリーの友」の中からクラブ例会において適応に簡単な紹介を行い読者の関心を高めるよう努める。
2. 大和市図書館に「ロータリアン誌」「ロータリーの友」を引続き寄贈し、又各々のクラブ会員が身近かな待合室や応接室等にロータリー機関誌を備え、雑誌を広く利用するよう勧奨する。
3. 当クラブで推薦したロータリー財団奨学生迫田浩子さんに「ロータリーの友」を毎月留学先（西独）に送付し、雑誌を通じて国際奉仕の購読を計り、ロータリー情報の交換に役立てるよう努める。

会 員 選 考 委 員 会

委 員 長 松 本 忠 明

副委員長 細 野 順 造

委 員 蜂 屋 良 平

北 砂 富 三

当委員会は、会員増強、職業分類委員会と協力して、次のことを重点に、より良質な会員を選考して行きたいと思います。

- 1) 会員として、会合に正しく出席出来るか。
- 2) 本人の人格が、当クラブになじめるか。
- 3) 本人及び事業所の社会的評判はどうか。
- 4) 奉仕に協力的であるか。

会 員 増 強 委 員 会

委 員 長 近 藤 富 士 男

副委員長 長 野 俊 八

委 員 芦 田 敬 治

橋 本 健 彦

“ クラブの拡充に努める ”とする本年度方針に従い新会員の増員目標を10%とし、全会員の協力により下記の方法により目標の達成を計る。

1. 本年度は大和市北部に大和田園ロータリークラブが設立された直後なので、市内の中南部を5ブロックに分割し、各ブロックより1名の入会者を得る。

〔分割方法〕

1. 鶴間地区 2. 大和東地区 3. 大和西地区 4. 桜ヶ丘地区

5. 高座渋谷地区

とする。

2. 上記事項を推進させる為に、会員約10名をグループとし5グループを編成し各地区へ割当てる。編成方法は本年度迄の経過年度毎の会長、幹事を中心とした組織とする。
3. 推進方法は各地区毎の地図を作製し、各グループ割当地区の事業所等の実地調査を行い資料を得る。同資料による情報交換を定期的に行い、会員候補者を発掘し推薦する。

プログラム委員会

委員長 有 沢 昭 二

副委員長 伊 藤 宣 夫

委 員 原 田 穆

プログラム委員会は、プログラムの内容が、ロータリー奉仕の4部門の活動を具現し、推進するよう立案いたしました。例会時間の半分、30分間がプログラムの受持ちであり、例会活動の主幹であるとも言えることの重大さを思い、よりロータリー的であり、興味をそそり、意欲を満たすように、しかもその内容が、(1)会員同志が一層深く知り合い親睦が深まるよう、(2)ロータリーを理解させ、(3)広く各業界や、地域社会を知り、奉仕活動の資料となる等を目的としたプログラムの編成を心掛けた。この際、なるべく会員の積極的な参加によってなされるスピーチを主に、ゲストスピーカーによる有意義な話題を加え、バラエティーに富んだ内容にしたい。より充実させたものにするため、皆様のご協力をお願い致します。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
7	7	木	12:30	例 会 就 任 挨 拶	「新年度にあたり」 長谷川清一会長 古木 勝治幹事	会 長 幹 事
			18:30	第1回クラブ協議会 (於 鮎 忠)	「本年度クラブ活動について」	
	14	木	12:30	例 会 イニシェイションスピーチ 卓 話 〔理事・役員会〕	南川忠常君 「5周年を終えて」蜂屋5周年実行 委員長	プログラム
	21	木	12:30	例 会 クラブフォーラム	「クラブ奉仕について」	クラブ 奉 仕 (上田(利))
	28	木	12:30	例 会 卓 話	「記念切手のはなし」 古木勝治君	プログラム
8	4	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー	「防災について」 (大和市消防署)	プログラム (二 見)
	11	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー 〔理事・役員会〕	「職業奉仕について」 (地区委員長 塚本氏)	職 業
	18	木	12:30	例 会 卓 話	「先天性代謝障害児について」 上田利久君	プログラム
	25	木		8月28日 家族会に振替		
	28	日		第1回家族会		親 睦
9	1	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー	(青少年活動月間)	青少年
	8	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	「青少年の非行問題について」	プログラム

月	日	曜	日	時	間	事	項	内	容	担	当
9	15	木				祝日休会（敬老の日）					
	17 ～ 18	土 日				第259地区年次大会					
	22	木				一泊研修会例会 第2回クラブ協議会		於 箱根 「地区大会を終えて」		幹 事	
	29	木		12:30		例 会 卓 話		「キノコの話」 大高安男君		プログラム	
10	6	木		12:30		例 会 卓 話		（米山週間・職業奉仕月間） 「米山記念奨学会について」		米 山 （大 高）	
	13	木		12:30 ～ 15:30		例 会 第3回クラブ協議会 〔理事・役員会〕		「カバナー公式訪問にそなえて」		会 長 幹 事	
	20	木		12:30		例 会 クラブフォーラム		「職業奉仕についての事例研究」		職 業 （富 沢）	
	27	木				ガバナー公式訪問 例 会 第4回クラブ協議会		会長幹事との懇談 （於 例会場）		会 長 幹 事	
11	3	木				祝日休会（文化の日）（ロータリー財団月間）					
	10	木		12:30		例 会 卓 話 〔理事・役員会〕		「ロータリー財団について」		ロータリー 財 団 （石 渡）	
	17	木		12:30		例 会 クラブフォーラム		「社会奉仕について」		社 会 （高 橋）	
	24	木		12:30		例 会 卓 話		「スポーツと健康」 芦田敬治君		プログラム	
12	1	木		12:30		例 会 卓 話 ゲストスピーカー		未 定		プログラム	
	8	木				合同例会に振替					

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
12	11	日		三クラブ合同例会 於 雅翔		
	15	木	12:30	例 会	「イニシェーションスピーチ」	プログラム
	22	木	12:30	例 会 卓 話	「車社会」 原田 穆君	プログラム
	29	木	18:30	夜 間 例 会 (於)	「半期報告」 古木勝治幹事	幹 事
1	5	木	12:30	例 会 挨 拶	「年頭にあたり」 長谷川清一会長	会 長
				第5回クラブ協議会 (於 例会場)	「半期を終えて」	幹 事
	12	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	「塗装の話し」 上村幹雄君	プログラム
	19	木	12:30	例 会	「中国留学生をかこんで」	国 際
	26	木	12:30	例 会 卓 話	「税金のはなし」 菊地康公君	プログラム
	29	日		第 2 回 家 族 会 (観 劇)		親 睦
2	2	木		(世界理解月間) 1 月 2 9 日 家 族 会 の 振 替		
	9	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	「健康の話し」(予定) 亀谷志郎会員	プログラム
	16	木	12:30	例 会 卓 話 ゲストスピーカー	(未定)	プログラム
	23	木	12:30	例 会 クラブフォーラム	〔ロータリー創立記念日(23日)〕 「国際奉仕について」	国 際 (鈴 木)

月	日	時間	事 項	事 項	内 容	担 当
3	1	木		I. G. F. に振替		青少年
	3	日		第10.11分区 I. G. F. (ホスト相模原西)		
	8	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	未 定	プログラム
	15	木	12:30	例 会 卓 話	「機械のメンテナンスとサービス」 後藤定毅君	プログラム
	22	木	6:30	夜 間 例 会 第6回クラブ協議会	「IGFを終えて」 於 箱根	会 長 幹 事
	29	木	12:30	例 会 卓 話	「動物の飼育のはなし」 松崎正美君	プログラム
4	5	木	12:30	例 会	(ロータリー雑誌月間) 「社会奉仕活動について」	社 会 (高 橋)
	12	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	「環境と自分」 金井大輔君	プログラム
	19	木	12:30	例 会 卓 話	「インドシナ難民 定住促進センターの現況」	国 際
	26	木	12:30	例 会 卓 話	「雑誌週間にちなんで」 上田 勝君	雑 誌
5	3	木		祝 日 休 会 (憲 法 記 念 日)		
	10	木	12:30	例 会 卓 話 〔理事・役員会〕	クラブ創立記念日	会 長
	17	木	12:30	例 会 卓 話	「ロータリー情報」 亀谷志郎君	ロータリー 情 報
	20	日		第 3 回 家 族 会		親 睦
	24	木		家 族 会 に 振 替		

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
5	31	木	12:30	例 会 卓 話 ゲストスピーカー	「最近のコンピューターの話題」	プログラム
6	7	木	12:30	例 会	「イニシェーションスピーチ」	プログラム
	14	木	12:30	例 会 〔理事・役員会〕	「次期会長運営方針」 猪熊唯夫君	次 期 会 長
	21	木	12:30	例 会 第7回クラブ協議会	「83-84年度を終了して」	幹 事
	28	木	12:30	例 会 挨 拶	「1年を顧みて」 長谷川清一会長 古木 勝治幹事	会 長 幹 事

広 報 委 員 会

委 員 長 布 施 光 雄

副委員長 藤 田 重 成

委 員 小 島 健 一

ロータリークラブが地域社会で孤立しないため、近隣クラブの広報委員長と連携を密にして、ロータリーのイメージ向上を図る広報活動を行ないたい。

1. 社会奉仕委員会の活動に、一人でも多くの会員の参加を呼びかけ、地域社会とのつながりを深める。
2. 青少年奉仕委員会の活動に積極的に参加し、地域社会の若い世代との交流を持つ。
3. クラブ内において他の委員会と確実に連絡しながら、それぞれの活動の広報面について意見を述べたい。

ロータリー情報委員会

委員長 ① 亀谷 志郎

副委員長 ② 寺田 伍六

委員 ③ 長谷川 清一

1905年2月23日（日露戦争日本海海戦勝利の日）夜アメリカ、シカゴ、ディ・アボーン街、ユニティビルにある鉦山技師、ガスターバス・ローアの事務所にて4人の人が卓を囲んだ。これがロータリーの始めである。他の三人は仕立屋ハイラム・ショーレー、石炭商シルベスター・シール、そして弁護士ポールハリスであった。

その後78年の歳月が流れ、ロータリーは世界各国に友情の輪を拡げ、日本はアメリカに次ぐ、ロータリー大国になった事は周知の事実である。

ロータリーは大きくはなったが、果して創立当時の素朴で然しながら高邁な理想は生きつづけているであろうか。

すべての物事に於て、機構的發展の中に於ける内面的追化、貧困化はつきものである。我々は常にこの事実を反省せねばならぬ。

ロータリーは会員各人の精神修養の場である事は綱領4つのテストでも明白である。従ってロータリーに於て虚飾と邪心は許されるべきではない。

各人は各々の価値体系を認識せねばならぬ。これはドイツの法学者Raclbruch（1878～1949）の言う個人主義的又は人格主義的価値、全体主義的又は団体主義的価値、又文化主義的価値であろうと優劣正邪を論ずる要はない。各人は全く平等である。会員である以上、ロータリーの知識、定款、細則を勉強する必要性は言うまでもない。それを奉仕の実践に結びつけるべきである事も論を待たない。

私は情報委員長として、①人間としての思想をもった知識を充実させる事、②クラブ会長（RI会長は無論）の方針に全面的に協力し、あらゆる機会を通じて、新旧すべての会員が仲よく協力し、ロータリー本来の目的に向って進む様初心にかえって努力する決心である。

スマイルボックス委員会

委員長 松 本 三 郎

副委員長 古田土 勝 美

委 員 上 村 幹 雄

1. スマイルボックス基金は、ロータリークラブ奉仕活動の原動力として大切な役割を持っています。会員各個人の理解と認識のもとに御協力を頂いたうえで、PRに努めます。
2. 個人の喜び、幸せと感じた時、感謝をしたい時、家族、会社、友人の慶事、御見舞の御礼等、自主的判断によって1,000円～10,000円

本人誕生日 3,000円

夫人誕生日 2,000円

結婚記念日 2,000円

創業記念日 2,000円

入会記念日 2,000円

ゴルフ大会入賞

その他大会入賞、表彰等

上記の通りと致します。御協力と御理解をお願いします。

S. A. F.

委員長 土屋 翁 三

副委員長 伊藤 英 夫

秩序正しく、品位あり、しかも能率的なロータリークラブの会合を維持すること及び、クラブの訪問者、来賓に良い印象を与えるよう努力したい。

1. 例会定刻 30 分前に会場に到着し、準備に遺漏のないようにする。
2. 配席に工夫をし楽しい雰囲気の中で例会が進行するよう努めます。
3. 例会中の私語や囁きに十分な注意をし、能率の良い例会進行に努めます。
4. 遅刻、早退者に気を付け、時間、約束を守るロータリアンとしての誇りに傷が付くことのないよう配慮します。

五周年も終り、気持を新にし新鮮な雰囲気になるよう努めます。

国 際 奉 仕 委 員 会

委 員 長 鈴 木 久次郎

副委員長 杉 山 元次郎

委 員 寺 田 伍 六

国際奉仕の基本目的は個々のロータリアンの活動にあり、ロータリアンの連帯により国際間の理解と親善を深め、真の世界平和を目指し、平和への道を積極的に増進し、他国の立場になって考え、ロータリアンの民間外交を推進してまいります。

前年度実施した事業、業績は立派なものでありました。よって前年事業を継承しつつ、併せて東慶州クラブとの姉妹クラブ締結により、新たな事業を推進し、国際理解と親善の礎として各委員会の協力を得て次の通りの事業を実施してまいります。

1. 東慶州クラブへの親善訪問
2. 慶州ナザレ園の援助窓口として支援していきます。
3. インドシナ定住センターの人々との理解を深める。
4. 中学留学生との相互理解と支援。
5. 青少年交換学生受入。

ロータリー財団委員会

委員長 石 渡 英二郎

副委員長 福 本 国 雄

委 員 合 田 良 徳

1. ロータリー財団委員会の任務は、ロータリー財団に関する情報を広め、且これに対する支援を促進し、並びに諸種のロータリー財団プログラムに対するクラブレベルの協力奨励することにあります。
2. ロータリー財団の目的は、即ち異なる国民の間に理解と友好関係を増進し、更に財団六つのプログラムによって行なわれております。

委員会の任務は、これらプログラムを会員に伝えると共に参加を促進、財団に対する財的支援を奨励することを中心とするものであります。

イ．ロータリー財団のことをクラブ会員は勿論、地域社会の人々に機会を求めてPRにつとめます。

ロ．財団に対する財的支援を継続的に行うよう奨励する。

ハ．クラブレベルの財団寄附の拡大（寄付は真心、見栄や無理のないように）。

ホールハリスフェロー、準フェローを増やす。

随時募金

各会員の特段のご理解とご協力をお願い致します。

米 山 記 念 奨 学 委 員 会

委 員 長 大 高 安 男

副委員長 古 川 巖

委 員 上 田 勝

我が国経済の発展に伴って、東南アジア各国との多方面に亘る種々の摩擦が心配される現在、過去28年間に、3千余名の奨学生を送り出した米山奨学会の国際理解と親善に寄与した実績は、極めて大きいものとなって居ります。

又当クラブとして米山奨学生を受入した経験からも、当委員会の重要性は充分理解されて居ると思われますので、本年度は次の二点を積極的に行います。

- ① 普通寄附金の増額、並びに特別寄附金の応募を随時行う。
- ② 米山功労者及び、準米山功労者の推挙。

職 業 奉 仕 委 員 会

委 員 長 富 沢 重 徳

副委員長 南 川 忠 常

委 員 長 野 俊 八

今年度は、「青少年の心にロータリーのほほえみを」という会長ターゲットに基づき、当委員会としては次のような課題を設定して、各会員の協力を頂き、活動を展開したい。

1. 青少年に職業の認識と心がまえを。

職業分類を代表している各ロータリアン会員に職業に関するアンケート調査を実施し、これをもとに職業を通じて社会の仕組みや実態のメカニズムを知らせる一方、職業人としてのあるべき姿や社会的貢献への満足感等を含めた小冊子を作成して近隣の学校に配布したい。

2. 事例研究から働く青少年への配慮を。

職業奉仕は、会員がロータリークラブで一つの職業をもつという特権から生ずる義務である。そして職業奉仕は如何にすればロータリー精神を各職場や地域に生かせるか、如何にすれば自分の職業を通して社会に貢献できるかを具体的に考えることからスタートする。

そこで、この前提に立って「事例にとり組みましょう」という冊子(57-J)を全会員に配布して、ロータリアン各自に奉仕への道を探って頂くと同時に、クラブフォーラム、炉辺会合等を通じて青少年関係の問題を取り挙げ、対策や方法等を考え合いたい。

社 会 奉 仕 委 員 会

委 員 長 高 橋 政 勝

副委員長 上 村 幹 雄

委 員 松 崎 正 実

我々ロータリオンは“地域社会関係における各自の責任を遂行する”のを援助するため種々の問題を取り上げていきたい。

そこで会長の方針の一つである「青少年問題の研究や青少年団体の活動に力をかしたい」とありますが、これを重点として会員の協力を得て、我がクラブの社会奉仕活動を推進し実施をして行きます。

1. 障害者を一日自然と楽しむ会に招待する。

今期で3年目を迎えますが、今までの活動内容をさらに伸ばし協力を援助したい。

2. 「価値ある善意を提供」

社会福祉団体に少しでもお役に立ちたい。

このようなことから市内の老齢者、心身障害者団体の事業に対して援助を行います。

青 少 年 奉 仕 委 員 会

委 員 長 ① 辻 国 明

副委員長 ② 二 見 長 幸

委 員 ③ 高 橋 政 勝

本年度の運営方針の支柱は、８０年代を作る、「清心な青少年の心にロータリーのはほえみを」おくることを宣言いたしました。これは大和市が、「明るくたくましい青少年が育つ都市」を推進されている育成への橋が地域社会とロータリーが一体と結ばれたことを意味するものです。これは未来を担う青少年の問題を地域社会とロータリアン全員が深い関心を持ち、慎重に且つ、積極的な活動を目ざし青少年の真の幸と、人間性の豊かさを育てる活動をする。

当委員会の任務は、(イ) 地域青少年団体への助成、(ロ) その他、地域全般に亘る青少年間との取り組み、以上を基本とし今年度の活動の重点が達成されるよう努力します。

(計画の概要)

1. ロータリアンとして次代を担う青少年に関する活動の最適者であることをクラブ会員が自覚し、その活動を通じて青少年が善良な市民たるべきを激励する。
そのためのプログラムを展開させる。
2. 地域青少年と共に奉仕の実践を行う。
3. 青少年の健全な成長を阻害する社会環境の改善のため次のことを実行する。
 - a. 地域青少年の声を聞く会
 - b. 青少年と両親をまじえた意思疎通を計る、討論会、講演会等を催す。
4. 健全な青少年育成を目的とした、ボーイスカウト、ガールスカウト等の団体を助成する為、会員個人個人がその団体の賛助会員、維持会員等になるよう協力を求める。
5. 青少年奉仕委員会は、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会と緊密な連絡を取り、事業が起きた時は、相互協力、積極的な活動を行う。

大 和 中 ロ ー タ リ ー

	氏 名	生年月日 入会年月日	職 業 分 類	事 業 所 名	職 名
A	有 沢 昭 二	S 2. 6.11 S54. 3.22	内 科 医	大 和 診 療 所	院 長
	芦 田 敬 治	S 2.12.12 S53. 6.23	外 科 医	芦 田 医 院	院 長
F	藤 田 重 成	T10. 5.15 S53. 6.23	鉄 骨 建 築	(有) 藤 田 工 務 店	代表取締役
	福 本 国 雄	T14. 9.19 S56.11.19	給 食	(株) 安 田 物 産	専務取締役
	古 川 巖	S11. 9.17 S57. 8.26	食 料 品 販 売	セブンイレブン 鶴間店	店 主
	古 木 勝 治	S11. 8. 2 S54.10.18	郵 便 事 業	中央林間 駅前郵便局	局 長
	布 施 光 雄	S 7.12.3 S54. 5.10	建 築 材 料 輸 入	西 友 商 事 (株)	代表取締役
	二 見 長 幸	S22. 2.18 S55.10.30	果 樹 栽 培	二 見 園	園 主
G	合 田 良 徳	S11. 8.21 S55.10. 2	生 命 保 険	明治生命保険相互会社 大 和 北 営 業 所	所 長
	後 藤 定 毅	S18. 6.11 S55. 7.10	印 刷 機 械 組 立	(有) 藤 工 業 所	代表取締役
H	蜂 屋 良 平	T 4.11.10 S53. 6.23	(シニア・アクティブ 陸上輸送業)	日 本 ト ラ ッ ク (株)	取 締 役
	原 田 穆	S 6.12.21 S57.11.18	自 動 車 販 売	横浜いすゞモーター(株)	専務取締役
	長谷川 清 一	S14. 7.12 S53. 6.23	経営コンサルタント	長谷川経営コンサルタンツ 事 務 所	所 長
	橋 本 健 彦	S12. 8. 8 S56. 7.16	プラスチック工業	東京エンジニアリング(株)	代表取締役
	細 野 順 造	T11. 4.28 S55.10. 2	生コンクリート製造	(有) 細 野 コ ン ク リ ー ト	取締役会長
I	猪 熊 唯 夫	T14. 9.12 S53. 6.23	寝 具 販 売	(有) イ ノ ク マ 寝 具 店	代表社員
	石 渡 英二郎	T10. 2. 6 S54. 1.18	和風レストラン	鮎 忠 大 和 店	代表取締役
	伊 藤 英 夫	S13. 3.18 S53. 6.23	清 酒 販 売	カ ギ サ ン 酒 店	店 主
	伊 藤 宣 男	S11. 6.11 S55. 9.11	百 貨 店	(株) 浜 屋 百 貨 店	代表取締役
K	亀 谷 志 郎	T11.12.14 S53. 6.23	内 科 病 院	亀 谷 内 科 病 院	院 長
	神 作 彰	S19. 3. 6 S58. 3. 3	石 油 卸 業	石 井 石 油 (株)	専務取締役
	金 井 大 輔	S12.11.16 S58. 3.31	建 築 設 計	(株) カ ナ イ 興 業 一 級 建 築 士 事 務 所	所 長
	菊 地 康 公	S11.10.25 S57. 8.26	税 務 代 理	税理士菊地康公事務所	所 長
	北 砂 富 三	S 7. 7.20 S53. 6.28	損 害 保 険	ローリンズヒースジャパン(株) 相 模 原 支 店	支 店 長
	古田土 勝 美	S19. 5.14 S56. 6.18	電 気 工 事	聖徳電気工事(株)大和営業所	所 長
	近 藤 富士男	S14. 1. 1 S53.12.14	不 動 産 管 理	(株) 近 藤 商 事	代表取締役
	小 島 健 一	S 6. 7.23 S57.11.18	音 響 製 品 組 立	小 島 産 業 (株)	代表取締役

クラブ会員名簿

別表 (1)

事業所所在地	電話	自宅住所	電話	電
大和市中央林間 1-17-9	(74)4315	東京都杉並区下高井戸 5-7-20	03 (303)7761	168
" 南林間 4-6-7	(74)0906	大和市南林間 4-6-7	(74)0906	242
" 南林間 1-5-15	(74)3931	" 南林間 1-5-17	(74)3931	242
" 深見西 2-6-28	(61)9700	横浜市南区六ツ川 1-6-47	045 (731)4910	232
" 鶴間 2-14-10	(74)5278	大和市鶴間 2-14-1	(74)5544	242
" 中央林間 3-10-15	(74)4213	" つきみ野 3-3-11	(74)7632	242
" 桜森 2-11-6	(64)1141	" 桜森 2-11-13	(63)0391	242
" 上草柳 5-2-19	(63)3852	" 上草柳 5-2-19	(63)3852	242
" 中央林間 3-11-10	(74)6068	東京都品川区南品川 3-4-8	03 (474)7980	140
" 桜森 2-11-6西友ビル内	(63)1166	厚木市戸田 1086	(28)2157	243
" 福田 4766-1	(69)2002	横浜市鶴見区北寺尾 1-13-13	045 (581)0692	230
" 深見 529-8	(63)7941	" 旭区笹野台 214-5	045 (391)5743	241
" 上草柳 3-16-7	(33)5836	大和市上草柳 3-16-7	(61)3741	242
綾瀬市早川 2605-10	0467 (76)7781	横浜市港南区日野町 1810	045 (842)4034	233
大和市下鶴間 2767	(75)2334	東京都町田市鶴間 66	0427 (95)2342	194
" 大和東 3-1-20	(61)0653	大和市大和東 3-1-20	(61)0672	242
" 大和東 3-1-1	(61)0310	" 中央 3-5-9	(61)2613	242
" 西鶴間 4-7-5	(61)3667	" 西鶴間 4-7-5	(63)3000	242
" 大和東 3-1-2	(61)0459	" 大和東 2-7-32	(61)1263	242
" 中央林間 4-25-17	(73)0430	" 中央林間 4-25-17	(75)5451	242
" 下鶴間 2779	(75)2554	" 下鶴間 2771	(74)1963	242
" つきみ野 3-18-1	(76)2810	" 下鶴間 1514	(74)5827	242
相模原市富士見 5-2-12	0427 (56)4305	" 上草柳 2-4-7	(64)3403	242
" 南台 1-18-1	0427 (46)1810	" 南林間 5-2-16	(74)1230	242
大和市中央 7-16-27	(61)5589	" 深見 539-6	(63)9146	242
" 中央 2-3-1	(61)2233	" 上草柳 1-7-35	(61)5545	242
" 南林間 7-13-14	(76)0033	" 中央林間 2-16-6	(75)5259	242

	氏 名	生年月日 入会年月日	職 業 分 類	事 業 所 名	職 名
M	前 原 一 男	S16. 9.28 S58. 5.12	男 子 服 製 造	(有) ア ロ ー テ ー ラ ー	代表取締役
	松 本 三 郎	S14. 9. 3 S55. 7.31	プロパンガス販売	(有) 松 本 プ ロ パ ン	代表取締役
	松 本 忠 明	S10. 7.28 S53. 6.23	洋 菓 子 製 造	(有) チ ロ ル	代表取締役
	松 崎 正 実	S25. 1. 4 S56.12. 3	獣 医	つきみ野松崎動物病院	院 長
	南 川 忠 常	S 2. 5.26 S58. 6. 9	信 用 金 庫	八千代信用金庫大和支店	支 店 長
	三 浦 泰 之	S21. 7.20 S56. 4. 9	環 境 整 備 工 事	東 京 土 木 工 業 (株)	専務取締役
N	長 野 俊 八	S 9. 1.21 S57. 9. 9	自 転 車 販 売	サイクルセンターナガノ	代表取締役
	中 西 功	S20. 2. 7 S53. 8.17	建 築 材 料 販 販	(有) 中 西 商 店	専務取締役
O	大 高 安 男	S 4.10.20 S53. 6.23	木 造 建 築	(有) 進 栄 建 設	代表取締役
S	杉 山 元次郎	S 7. 2.22 S57. 6.24	貨 物 自 動 車 運 転 台 製 造	車 体 工 業 (株)	常務取締役
	鈴 木 久次郎	S 8. 1.21 S53.12. 7	清 涼 飲 料 販 売	(有) 鈴 木 酒 店	代表取締役
T	高 橋 政 勝	S12. 8. 4 S55.10.30	為 替 事 業	大 和 上 草 柳 郵 便 局	局 長
	竹之内 弘 美	S17. 2.22 S54. 4.12	電 子 機 器 部 品 加 工	(有) 吹 上 製 作 所	代表取締役
	種ヶ島 実	S 3. 8.13 S58. 4. 7	不 動 産 鑑 定	種ヶ島不動産鑑定事務所	所 長
	寺 田 伍 六	T10. 6.14 S53. 6.23	土 木 業	(株) 寺 田 土 木	代表取締役
	富 沢 重 徳	S14. 4. 8 S53. 6.23	不 動 産 賃 貸	と み ざ わ ビ ル (株)	専務取締役
	土 屋 翁 三	S16. 5. 9 S53. 6.23	医 薬 品 製 造	サ ン 薬 品 工 業 (株)	専務取締役
	辻 国 明	S 9. 2.11 S53. 7.27	コ ン ピ ュ ー タ ー シ ス テ ム	(株) 日 本 コ ン ピ ュ ー タ ー ユ ー セ イ ジ	代表取締役
U	上 田 勝	S 9. 1. 2 S57. 6.24	コ ン ク リ ー ト 製 品 製 造	上 田 コ ン ク リ ー ト 工 業 (株)	代表取締役 社 長
	上 田 利 久	S 4. 1.23 S53. 6.24	小 児 科 医	ウ エ ダ 小 児 科	院 長
	上 村 幹 雄	S11. 8.15 S57. 7.15	建 築 物 塗 装	(有) ウ ェ ム ラ 塗 装 店	代表取締役
Y	山 中 忠 誠	S 5. 4. 8 S55.12.18	旅 行 幹 旋	(有) 大 和 旅 行 セ ン タ ー	代表取締役

事業所所在地	電話	自宅住所	電話	〒
大和市中央1-2-5	(61)6082	大和市福田2764-4	(67)7066	242
" 大和東3-15-4	(61)0660	" 大和東3-15-4	(61)8252	242
" 大和南1-5-11	(61)6573	横浜市瀬谷区下瀬谷3-28-1	045 (301)5206	246
" つきみ野4-11-14	(75)4556	大和市つきみ野4-11-14	(75)4556	242
" 大和南1-4-4	(61)3241	東京都国分寺市南町1-6-6	0423 (21)2461	185
" 下鶴間3231	(75)6911	" 南林間8-5-7	(75)8926	242
" 南林間1-19-11	(74)4439	" 南林間1-19-11	(74)4439	242
" 鶴間2-14-5	(74)9765	" 鶴間2-14-5	(74)4655	242
" 中央林間2-13-15	(74)3123	" 中央林間2-13-15	(74)3123	242
" 下鶴間3050-1	(61)3111	藤沢市亀井野1317	0466 (81)1649	252
" 南林間6-11-15	(74)9232	大和市南林間6-11-15	(75)0214	242
" 上草柳4-3-9	(61)4220	" 上草柳4-6-4	(61)7685	242
" 下鶴間2757-1	(61)2616	" つきみ野5-12-6	(75)2120	242
" 中央2-14-27-501	(63)3268	横浜市磯子区東町15-31-910	045 (751)2715	235
" 上草柳7-8-3	(61)1294	大和市西鶴間4-12-11	(61)1297	242
" 深見3382	(64)5512	" 大和南2-4-20	(62)0744	242
" 深見東1-1-12	(61)3714	" 深見東1-1-12	(63)6623	242
東京都渋谷区円山町20-1 新大宗円山ビル5階	03 (496)4371	" 南林間5-7-27	(74)2983	242
大和市下鶴間3037-6	(75)2184	" 下鶴間1785-10	(74)6898	242
" 林間2-17-6	(74)6240	" 林間2-17-6	(75)1540	242
" 大和東3-15-5	(61)7370	" 下鶴間2776-1 大和ハイデンス401	(75)7299	242
" 鶴間1-28-11	(64)3333	" 西鶴間4-3-7	(61)7110	242

1983～1984 年度理事・役員委員会一覧表

別表 (2)

理 事	会 長
長谷川 清 一	会 長 長谷川 清 一
猪 熊 唯 夫	会長エレクト 猪 熊 唯 夫
上 田 利 久	副 会 長 上 田 利 久
富 沢 重 徳	幹 事 古 木 勝 治
辻 国 明	副 幹 事 伊 藤 英 夫
鈴 木 久次郎	S. A. A. 土 屋 翁 三
高 橋 政 勝	会 計 後 藤 定 毅

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
クラブ奉仕 (担当理事)	上田 利久		
出 席 委 員 会	中西 功	菊地 康公	古川 巖
職 業 分 類 委 員 会	① 山中 忠誠	② 有沢 昭二	③ 南川 忠常
ク ラ ブ 会 報 委 員 会	杉山元次郎	福本 国雄	三浦 泰之 菊地 康公
親 睦 活 動 委 員 会	橋本 健彦	松崎 正実	神作 彰 金井 大輔
			種ヶ島 実 前原 一男
雑 誌 委 員 会	上田 勝	竹之内弘美	古田土勝美
会 員 選 考 委 員 会	松本 忠明	細野 順造	蜂屋 良平 北砂 富三
会 員 増 強 委 員 会	近藤富士男	長野 俊八	橋本 健彦 芦田 敬治
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	有沢 昭二	伊藤 宣夫	原田 穆
広 報 委 員 会	布施 光雄	藤田 重成	小島 健一
ロータリー情報委員会	① 亀谷 志郎	② 寺田 伍六	③ 長谷川清一
スマイルボックス委員会	松本 三郎	古田土勝美	上村 幹雄
S. A. A.	土屋 翁三	伊藤 英夫	
国 際 奉 仕	鈴木久次郎	杉山元次郎	寺田 伍六
ロータリー財団委員会	石渡英二郎	福本 国雄	合田 良徳
米山記念奨学委員会	大高 安男	古川 巖	上田 勝
職 業 奉 仕	富沢 重徳	南川 忠常	長野 俊八
社 会 奉 仕	高橋 政勝	上村 幹雄	松崎 正実
青少年奉仕	① 辻 国明	② 二見 長幸	③ 高橋 政勝

歴 年 会 務 分 担 表

別表 (3)

◎委員長 ○副委員長 △委員

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
1	芦田 敬治	S53. 6.23	(理事) ◎職業奉仕 ◎社会問題	(理事) 会 長	(理事) 副 S. A. A. △ロータリー 情報 △職業奉仕	○ロータリー 情報 △国際奉仕	◎ロータリー 情報 △職業奉仕	△ 会員増強
2	渋谷 光彦	"	(理事) ○会員増強 ◎ロータリー 財団	退 会 (1978. 12. 21)				
3	藤田 重成	"	◎広 報 ○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報 △ロータリー 財団	会 計 ○ロータリー 財団 △クラブ会報	◎会員選考	(理事) ◎社会奉仕 ○米山奨学	○広 報
4	郡司 守	"	◎会員増強 ○クラブ会報	(理事) ◎国際奉仕 △クラブ会報	◎プログラム △出 席	副幹事 △プログラム	幹 事 退会 (1983.4.21)	
5	蜂屋 良平	"	(理事) 副会長 会 長	(理事) △ロータリー 情報	○ロータリー 情報 △国際奉仕	◎ロータリー 情報	△ロータリー 財団	△会員選考
6	長谷川清一	"	幹 事	△国際奉仕 S. A. A. ◎ロータリー 財団	○クラブ会報 △プログラム	(理事) ◎職業奉仕 △雑 誌	(理事) 会 長 エレクト	(理事) 会 長 △ロータリー 情報
7	猪熊 唯夫	"	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類 △スマイル	(理事) ◎社会奉仕 △会員選考	◎米山奨学	(理事) 副会長	(理事) 会長エレクト
8	伊藤 英夫	"	◎出 席 ○青少年奉仕 △ロータリー 情報	(理事) ◎青少年奉仕 ○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報	◎親睦活動 △ロータリー 財団	○社会奉仕 △プログラム	副幹事 副 S. A. A.
9	亀谷 志郎	"	◎職業分類 ○会員選考	(理事) ◎社会奉仕 △会員選考	(理事) 会 長	(理事) △ロータリー 情報	○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報
10	北砂 富三	"	◎ロータリー 情報 ○国際奉仕	幹 事	S. A. A. ○会員増強 △ロータリー 財団	◎広 報 △社会奉仕	(理事) ◎国際奉仕 △雑 誌	△会員選考
11	小菅兼三郎	"	◎スマイル ボックス ○雑 誌	退 会 (1979. 3. 15)				
12	松本 忠明	"	◎米山奨学 ◎75年 ○親睦活動 △スマイル	◎75周年 ○出 席 △国際奉仕	◎会員選考	(理事) ◎社会奉仕 △プログラム	○ロータリー 財団 △会員増強	◎会員選考

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
13	宮之原寛一	S53. 6.23	会 計 ○ロータリー 財団	退 会 (1979. 6. 28)				
14	小笠原一四	"	(理事) ◎社会奉仕	退 会 (1979. 1. 11)				
15	大高 安男	"	◎プログラム ○広 報	◎出 席 ○75周年	(理事) ◎職業奉仕 △雑 誌	○クラブ会報	◎会員増強 △スマイル	◎米山奨学
16	佐藤 実	"	(理事) ◎国際奉仕	(理事) 副会長	◎雑 誌	S. A. A.	退 会 (1982. 6. 24)	
17	須藤 正道	"	(理事) ◎青少年奉仕	退 会 (1979. 5. 17)				
18	寺田 伍六	"	◎会員選考 ○職業奉仕	(理事) ◎職業奉仕 △会員増強 △75周年	◎会員増強 △親睦活動	(理事) 副会長	(理事) 会 長	○ロータリー 情 報 △国際奉仕
19	富沢 重徳	"	S. A. A. ○出 席	副幹事 ◎会員選考 副S. A. A. △出 席	幹 事	副S. A. A.	◎雑 誌 ○クラブ会報	(理事) ◎職業奉仕
20	土屋 翁三	"	◎クラブ会報 ○プログラム △青少年奉仕	◎プログラム ○国際奉仕 ○青少年奉仕	(理事) ◎青少年奉仕 ○出 席	○親睦活動	会 計 副S. A. A.	S. A. A.
21	上田 利久	"	◎雑 誌 △職業分類	◎クラブ会報 ○職業分類	(理事) ◎国際奉仕 ◎職業分類	△広 報 △職業奉仕	◎プログラム △出 席	(理事) 副会長
22	矢野 久元	"	(理事) 会 長	死 亡 (1979. 1. 23)				
23	辻 国明	S53. 7.27	△親睦活動	会 計 ◎スマイル ○広 報	副幹事 ○社会奉仕	幹 事 △青少年奉仕	S. A. A. ○青少年奉仕	(理事) ◎青少年奉仕
24	袴田 和雄	S53. 8.10	△親睦活動	○プログラム △職業分類	退 会 (1979. 10. 4)			
25	中西 功	S53. 8.17	△親睦活動	◎親睦活動 ○会員増強 ○社会奉仕	◎米山奨学 △青少年奉仕	会 計 ○青少年奉仕	(理事) ◎青少年奉仕 ○プログラム	◎出 席

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
26	鈴木久次郎	S53.12.7	△親睦活動	◎雑 誌 ○ロータリー 財団	◎親睦活動	○会員増強 △国際奉仕	◎ロータリー 財団 △会員選考	(理事) ◎国際奉仕
27	近藤富士男	S53.12.14	△親睦活動	○会員選考 △青少年奉仕	◎出 席 ○青少年奉仕 △会員増強	(理事) ◎青少年奉仕 △スマイル	◎広 報 ○米山奨学	◎会員増強
28	石渡英二郎	S54. 1.18	△親睦活動	○スマイル △職業奉仕	◎広 報 ○職業奉仕 ○雑 誌 △職業分類	◎スマイル	◎職業分類 △親睦活動	◎ロータリー 財団
29	木崎 健祐	S54. 2.22	△親睦活動	◎会員増強 △親睦活動	○広 報	退 会 (1980. 9. 11)		
30	有沢 昭二	S54. 3.22	△親睦活動	◎米山奨学 ○職業奉仕 △国際奉仕	◎クラブ会報	(理事) ◎国際奉仕	○雑 誌 △職業分類	◎プログラム ○職業分類
31	山田 旭	S54. 4. 5	△親睦活動	退 会 (1879. 6. 30)				
32	保田 達	S54. 4.12	△親睦活動	◎広 報 ○親睦活動 △プログラム △75周年	◎スマイル ○国際奉仕	◎ロータリー 財団 △職業分類	退 会 (1982. 7. 29)	
33	竹之内弘美	"	△親睦活動	○クラブ会報 ○米山奨学	○職業分類 △社会奉仕	◎出 席 ◎職業分類	◎米山奨学 △親睦活動	○雑 誌
34	伊藤 正男	S54. 5.10	△親睦活動	○雑 誌 △米山奨学	(理事) 副会長	(理事) 会 長	△ロータリー 情報	退 会 (1983.6.30)
35	布施 光雄	"	△親睦活動	△親睦活動	◎ロータリー 財団 ○スマイル	◎会員増強 △出 席	○会員選考 △出 席	◎広 報
36	古木 勝治	S54.10.18		△親睦活動	○親睦活動 ○プログラム	◎クラブ会報	副幹事	幹 事
37	高山 正雄	S54.10.25		△親睦活動	△親睦活動	退 会 (1980. 10. 9)		
38	竹本 健一	S54.12. 6		△親睦活動	○会員選考 △親睦活動	◎雑 誌 ○職業奉仕	退 会 (1982. 6. 24)	

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
39	後藤 定綾	S55. 7.10			△親睦活動	◎プログラム ○国際奉仕	◎クラブ会報 △社会奉仕	会 計
40	松本 三郎	S55. 7.31			△親睦活動	○プログラム △クラブ会報 △親睦活動	(理事) ◎職業奉仕 △広 報	◎スマイル
41	伊藤 宣男	S55. 9.11				○スマイル △会員増強	△会員増強	○プログラム
42	合田 良徳	S55.10. 2				○米山奨学 △クラブ会報	◎スマイル △社会奉仕	△ロータリー 財団
43	細野 順造	"				○ロータリー 財団 △社会奉仕	○会員増強 △雑 誌	○会員選考
44	二見 長幸	S55.10.30				○雑 誌 △青少年奉仕 △米山奨学	◎出 席 △青少年奉仕	○青少年奉仕
45	高橋 政勝	"				○出 席 △ロータリー 財団	◎会員選考 ○青少年奉仕	(理事) ◎社会奉仕 △青少年奉仕
46	国方 隆	S55.11. 6				○広 報 △職業奉仕 △会員選考	退 会 (1982. 5. 13)	
47	池田 武和	S55.12.18				○社会奉仕 △親睦活動	○出 席 △スマイル	退 会 (1983.6.30)
48	山中 忠誠	"				○会員選考 △親睦活動	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類
49	三浦 泰之	S56. 4. 9				△親睦活動	○国際奉仕 △広 報	△クラブ会報
50	古田土勝美	S56. 6.18				△親睦活動	○広 報 △国際奉仕	○スマイル △雑 誌
51	橋本 健彦	S56. 7.16				△親睦活動	○親睦活動 △プログラム	◎親睦活動 △会員増強

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
52	福本 国雄	S56.11.19				△親睦活動	○職業奉仕 △親睦活動	○クラブ会報 ○ロータリー 財団
53	松崎 正実	S56.12.3				△親睦活動	○スマイル △親睦活動	○親睦活動 △社会奉仕
54	杉山元次郎	S57.6.24					△親睦活動	◎クラブ会報 ○国際奉仕
55	上田 勝	"					△親睦活動	◎雑 誌 △米山奨学
56	上村 幹雄	S57.7.15					△親睦活動	○社会奉仕 △スマイル
57	三国 誠文	S57.8.5					△親睦活動	退 会 (1982.10.14)
58	菊地 康公	S57.8.26					△親睦活動	○出 席 △クラブ会報
59	古川 巖	"					△親睦活動	○出 席 ○米山奨学
60	長野 俊八	S57.9.9					△親睦活動	○会員増強 △職業奉仕
61	原田 穆	S57.11.18					△親睦活動	△プログラム
62	小島 健一	"					△親睦活動	△広 報
63	神作 彰	S58.3.3					△親睦活動	△親睦活動
64	金井 大輔	S58.3.31					△親睦活動	△親睦活動

	会 員 名	入会年月日	(53年) 1978～1979	(54年) 1979～1980	(55年) 1980～1981	(56年) 1981～1982	(57年) 1982～1983	(58年) 1983～1984
65	種々島 実	S58. 4. 7					△親睦活動	△親睦活動
66	前原 一男	S58. 5.12					△親睦活動	△親睦活動
67	南川 忠常	S58. 6. 9					△親睦活動	○職業奉仕 △職業分類

大和中ロータリークラブ慶弔規定

別表 (4)

第 1 条 当クラブにおける慶祝金、弔慰金または見舞金の支出についてはこの内規の定めるところによる。

第 2 条 慶事の祝金は次の区分とする。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 本人及びその一等親家族の結婚の場合 | 10,000円 |
| 2. 子出生の祝金 | 5,000円 |

第 3 条 弔事の場合の弔慰金は次の区分とする。

- | | | |
|--------------------|----------|---------|
| 1. 本人死亡の場合 | 会員 1 人拠金 | 10,000円 |
| 2. 妻死亡の場合 | 会員 1 人拠金 | 5,000円 |
| 3. 上記以外の一等親家族死亡の場合 | 会員 1 人拠金 | 2,000円 |

第 4 条 負傷または罹災の場合の見舞金は次の区分とする。

- | | | |
|---------------------------|----------|---------|
| 1. 負傷または病気により欠席 1 ヶ月以上の場合 | 10,000円 | |
| 2. 火災及び風水害によって被害を受けた場合 | | |
| A 自宅 | 会員 1 人拠金 | 2,000円 |
| B 会社、工場、店舗など | | 10,000円 |

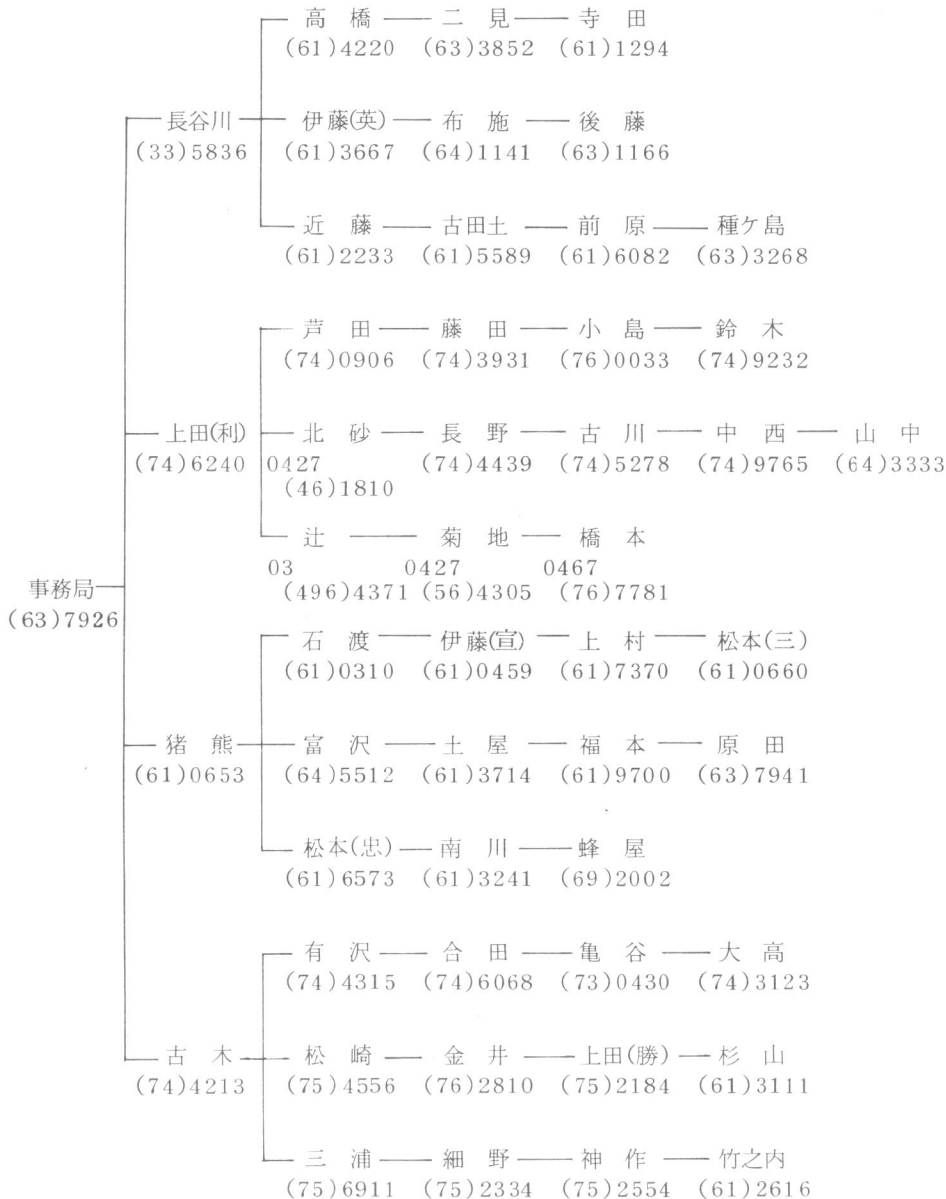
第 5 条 上記以外に必要と認めた場合は理事会の決定による。

第 6 条 上記慶弔見舞金に対する返礼は行わない事とする。

(昭和53年8月10日施行)

大和中ロータリークラブ電話連絡網

別表 (5)



〔注〕

1. 内容を確認て、正確、迅速に伝える。
2. 最後の人は連絡受領の報告を各自の最初の人に受けた内容も含めて連絡して下さい。
3. 番号は事業所のものです。自宅は会員名簿にて参照。